

試聴会・訪問記掲載

テクニクスリスニングルーム試聴記(2019.8.17)

テクニクスブランドとして初となる、SACD の再生に対応し、ハイレゾ、ストリーミング、MQA-CD 再生など多彩な音楽メディアの再生も可能なネットワーク/SACD/CD プレーヤー「SL-G700」を発売され、その試聴を行ったことは[テクニクスリスニングルーム試聴記\(2019.8.7\)](#)で報告したとおりですが、再度訪問してきました。今回の同席者は、前回と変わり、アナログファンです。

<試聴経過>

現在の試聴可能な機器は、[テクニクスリスニングルーム試聴記\(2019.8.7\)](#)で報告したとおりです。今回は、[河口無線アナログ・MQA 試聴報告\(2019.8.17\)](#)の試聴に引き続いての試聴でしたので、そこで使用された、MQA-CD とアナログの音源および同席者が持参された SACD や追加のアナログ盤を用いて比較試聴を行いました。



試聴機器は、[テクニクスリスニングルーム試聴記\(2019.8.7\)](#)で報告したとおりです。経過を要約しますと、先の訪問の結果の確認ということになりますが、今回初めて参加された同席者も MQA-CD、アナログ音源および SACD とも好印象を持たれたようで、先ほどの河口無線アナログ・MQA 試聴結果より評価が高く、全般的な調整がうまくできていた印象です。

同席者すべてが、好みはともあれ、MQA-CD、アナログ音源および SACD の音質の違いをはっきり聴き分けられたということでした。

最後に同席の O 氏が持参されたアナログ盤からワーグナーを聴き、とりわけワーグナーファンの O 氏、I 氏は大満足の様子でした。



なお、後日確認したところでは、SL-G700 の操作方法は、次のとおりです。

本体のボタン操作

ディスクの基本操作

eject, play, stop, skip, search, pause

リモコン操作

上記基本操作

ten キー、リピート、ランダム、プログラム操作

SACD の層切替、MQA デコード ON/OFF、

表示部 DIMMER、曲情報表示切替

アプリソフト操作

ネットワークプレーヤー機能

<まとめ>

MQA-CD、アナログ音源および SACD の音質の違いをはっきり聴き分けられ、アナログファンには満足していただいたようでした。

以上